

液化天然ガス先物 / 正式名称 : LNG (プラッツJKM) 先物 <取引概要>

取引対象	日本及び韓国を仕向け地とする仕向港着船渡条件でスポット取引されるLNG
取引単位	1,000 mmBtu ※「mmBtu」は百万英国熱量単位のこと。英国熱量単位 (BTU : British Thermal Unit) は天然ガスで一般的に用いられる単位。
呼値の単位	1円 (1枚あたり約定代金に換算して1,000円単位での値動き)
限月取引	15限月制
取引最終日	当月限が属する月の前月15日 (15日が休業日にあたる時は順次繰り上げ)
取引時間	8時45分～15時15分、16時30分～6時00分 (翌日取引)
決済方式	現金決済
最終決済価格	プラッツが日々発表するJKM価格の月間平均 (前々月16日～前月15日) の円換算値
ベンダーコード	QUICK : FPJKM.n/TOC Bloomberg : JGLA Comdty Refinitiv : JLNgcn 時事通信社:LNGM/TC

免責事項 : 「S&P Global Platts」、「Platts」、「JKM」及び「Platts JKJ」並びにPlattsのロゴマークは、S&P Global Inc.の商標であり、株式会社東京商品取引所 (以下「本取引所」という) は、その使用許諾を取得しています。また、S&P Global Inc.の一部門であるS&P Global Plattsは、Platts Japan Korea Marker (JKM™) LNG (以下「Plattsアセスメント」という) に基づくLNG (Platts JKJ) 先物 (以下「取引所契約」という) の上場、取引、決済及び清算に関して、本取引所がPlattsアセスメントを使用することを許諾しています。S&P Global Platts、その関連会社及びライセンス許諾者は、取引所契約を支援、推奨、販売又は販売促進するものではありません。S&P Global Platts、その関連会社及びライセンス許諾者は、取引所契約若しくは有価証券やコモディティ一般に対する投資の妥当性について、又は、Plattsアセスメントが市場全般のパフォーマンス若しくはコモディティ価格の変動を追跡する能力について、明示的又は黙示的であるかを問わず、一切の表明又は保証を行いません。S&P Global Platts、その関連会社及びライセンス許諾者は、明示的又は黙示的であるかを問わず、取引所契約若しくはPlattsアセスメント又はそれらの使用により得られる結果若しくはそれらの履行に関して、商品性又は特定の目的若しくは使用に対する適合性の保証を含むが、これらに限定されない一切の保証を行いません。S&P Global Platts、その関連会社及びライセンス許諾者は、Plattsアセスメント及びその要素、並びにこれに関する連絡 (口頭又は書面の連絡 (電子的手段による連絡を含む) などを含む) の適切性、正確性、適時性又は完全性について保証せず、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害又は派生的損害 (逸失利益、取引上の損失及びのれんの喪失を含む) などを含むいかなる損害又は責任を負わないものとします。また、本出版物は、「液化天然ガス先物 / 正式名称 : LNG (プラッツJKM) 先物」取引の説明を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本取引所は、本出版物の記載内容に万全を期しておりますが、お客様が本出版物の記載内容に基づいて行われる取引その他の行為及びその結果について、何ら責任を負うものではありません。本出版物は著作権法によって保護されており本取引所に無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

金融商品取引業者使用欄

液化天然ガス先物

～LNG (プラッツJKM) 先物～

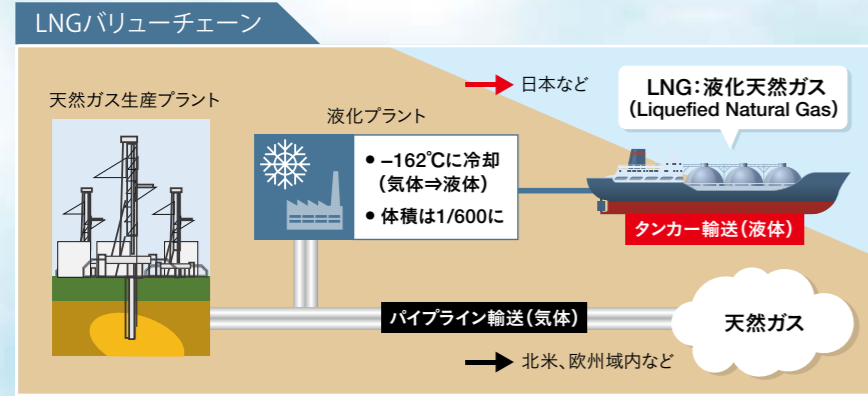
Liquefied Natural Gas Futures



世界中が脱炭素社会実現に向けて動き出し、
「エネルギー・トランジション (転換期)」に注目が集まる時代。
今、最もクリーンな化石燃料である「液化天然ガス (LNG)」が、
2022年4月4日、株式会社東京商品取引所のエネルギー先物市場に上場。

液化天然ガス・LNGってなに？

「気体」である天然ガスをマイナス162℃まで冷却すると「液体」になります。その液化した天然ガスの英語表記「Liquefied Natural Gas」の頭文字をとって「LNG」といいます。天然ガスは、石油や石炭と同じ化石燃料ですが、燃やしたときに出る二酸化炭素(CO₂)などの量が、石炭や石油よりも少ないことから「地球にやさしいエネルギー」と言われています。また「気体」から「液体」に形を変えると、同じ量でも「気体」に比べ体積が1/600まで凝縮されるので一度にたくさんの量をタンカーに積んで運ぶことができ、かつ貯蔵することができるのです。



私たちの暮らしを支えるLNG

日本のLNG輸入量は90%以上です。そのうち約65%は火力発電に用いられる「発電燃料」、約35%は「都市ガス原料」として使われています。特に国内の都市ガスは殆どがLNGで供給を賄っています。



豆知識
火力発電では、液化天然ガス運ぶ「LNGタンカー1隻分(約9万トン)」で、約240万軒が1ヶ月に使う電気が作り出されています。

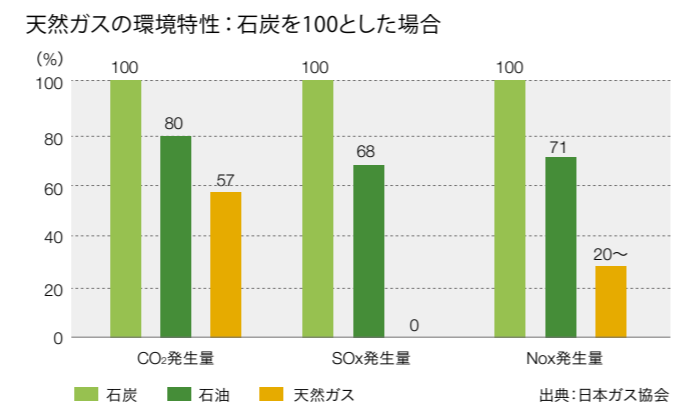
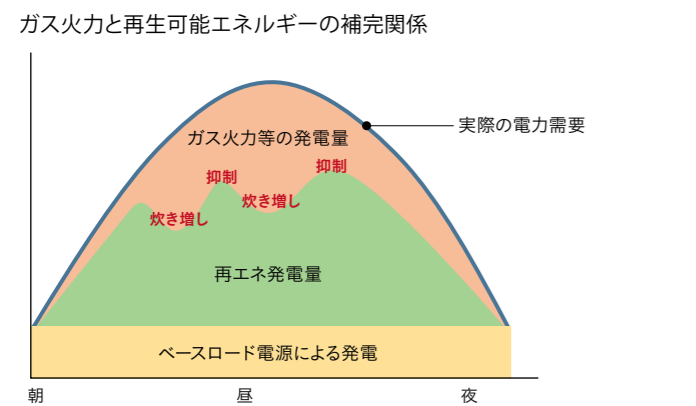
世界有数のコモディティ

LNGは、国際貿易において世界上位5品目の中に位置し、原油、金、鉄鉱石に次ぐ市場規模を誇るコモディティです。また、日本が属する北東アジアは世界有数のLNG消費地域であり、総輸入量は世界全体の大部分を占めています。



世界の脱炭素化への移行を支えるエネルギー

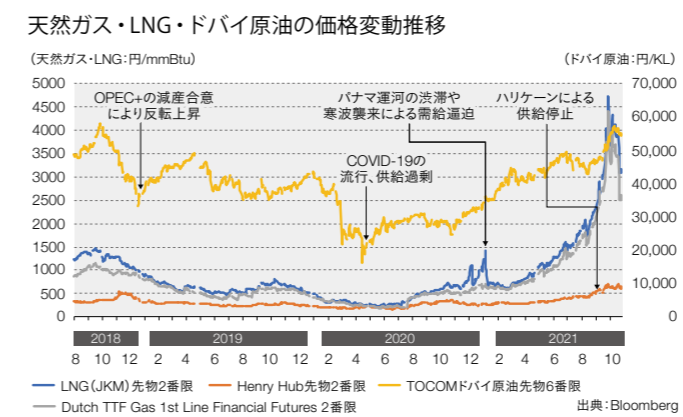
再生可能エネルギーによる発電量は天候状況や時間帯に左右されるため、電力需要に対して過不足が生じる場合があります。一方で、LNGを燃料とするガス火力は機動的かつ安定的な発電が可能であるため、電力需給の調整役を担い再生可能エネルギーの弱点を補完しています。このような背景から、エネルギー・トランジションに注目が集まる今日においてもLNGは脱炭素社会を実現する上で欠くことのできない重要なエネルギー源として位置付けられています。



液化天然ガス先物の価格変動要因

液化天然ガス先物価格は、現物の需要と供給のバランスなどが最大の価格決定要因となります。価格変動を展望する上で、以下のような価格変動要因を把握して変化を上手くとらえることが重要といえます。

- 天候**: 猛暑や厳冬といった冷暖房の需要や太陽光・風力などの自然エネルギーの発電量の増減が発電燃料及び都市ガス原料であるLNGの需要に影響し、価格が変動します。
- 地政学リスク**: 世界の天然ガス産出国や海上交通の要衝における政情不安などの地政学リスクの上昇は、LNG供給制約となり価格を押し上げる要因となります。
- 生産・輸送インフラの稼働状況**: 液化施設の稼働停止やパナマ運河での渋滞などは、供給停滞につながり、価格上昇の要因となります。
- 備船市場の需給**: 輸送用のチャーター船が逼迫している場合、輸送コストの上昇を受けLNG価格も上昇します。
- 排出権価格**: 排出権価格の高騰は石炭から天然ガスへ発電燃料を切り替えるインセンティブとなり、LNG価格の上昇につながります。
- 景気動向**: 原油などと同様にエネルギーであるLNGも一般的に景気動向と価格は連動します。
- 海外市場の動向**: 欧州ガス価格指標であるTTFとLNG価格指標であるJKM(用語説明参照)は相関性が高く、欧州におけるガスの在庫状況等はJKMの変動要因となります。



用語説明 北東アジア向けのLNGスポット価格指標「プラッツJKM」
プラッツJKMとは、S&P Global Platts(プラッツ)が北東アジア向けスポットLNGカーゴの価格を入着ベースで評価・発表しているLNG価格指標であるJapan Korea Marker(JKM)を指し、日本・韓国・台湾、中国向けカーゴの価格が評価対象です。LNGの取引はスポット契約とターム契約に大別されます。ターム契約のほとんどが原油価格に連動して価格決定されますが、スポット契約はその時々々のLNG需給を反映し価格決定されます。JKMはスポット契約の価格指数であり、北東アジア向けスポット取引契約の指標価格としての地位を確立しつつあります。